

# 岩手県立大と開発

健康管理システム  
健康シ

茨城のソフト会社 自宅の端末利用

ソフト開発のオフィスエムアンドエム（茨城県日立市、白戸幹雄社長）は岩手県立大学などと共同で、血圧計などを使って自宅に居ながら医師と連携して健康管理ができるシステムの開発を始めた。健康状態に関する情報を自宅の端末に集約。

内の実用化を目指す。

システムは血圧計と体重計、歩数計で測ったデータを無線通信でタッチパネル式画面の専用端末に取り込む。自動でグラフ化し、日々の変動を確認できるほか、ネット経由でかかりつけ医のパソコンと情報を共有。これを基に医師は食事や運動などについてメールで指導する。

同様のシステムはオムロンなど大手が先行するが、サービス提供は自社

製健康機器の利用者に限定している。

システムの設計は組み込みソフトなどのイーアールアイ（盛岡市、水野節郎社長）と分担。実用実験は岩手県立大のソフトウェア情報学部が担当する。